

みちのく会は東日本大震災、福島第一原発事故により北海道へ移り住んだ被災避難者の自助団体です。当会は、2011年4月23日に発足し、会員同士の自助、地域市民とのコミュニティの発生、それぞれが願う自立を目指し、様々な取り組みを行っています。

ホームページ：<http://michinokukai.info/>

ブログ：<http://ameblo.jp/coco-kara-hokkaido/>

メールアドレス：office@michinokukai.info

会長挨拶

春の訪れを待つこの時期。

会員さん、そして応援していただく多くの皆様、それぞれが振り返ったりこれからの道を考えてたりされたのではないのでしょうか。

私は、震災後初めてイベント会場ではなく職場で311をむかえました。

不思議な気持ちとなんとなく不安定な気持ちの中5年前を思い出していました。

2011年の夏に一時的にでもストレスのない生活をしてもらいたいと思い運営を開始した札幌市西区のあったかいどうハウスでのたくさんの家族との出会い。26世帯入れるハウスも先着順であつという間にいっぱいでした。同じ思いで北海道に来られたお母さんたちが共同生活をしながら泣いたり笑ったり毎日合宿ミーティングのように深夜まで話をしました。地域の小学校や児童会館にも協力いただき短い期間でしたがハウス通学させていただきました。親子で通える山の中の幼稚園にも園バスに乗せてもらい地元の家族とも交流しながら自然の中で思いっきり遊ぶことができました。また、役所からは保健師さんが訪れてくださったり、健康を心配する親子が多い中、ボランティアで医師や看護師などによる相談会も行っていただきました。夏休みは、ハウスと並行して十勝の豊頃町での受け入れを行ないみちのくキッズのほか道内、道外からも大学生ボランティアが参加して、最終日は学生も子どもたちも涙涙でした。みんな元気かな・・・。

本当にどれだけ多くの方々にお世話になったのか一人一人の顔を思い浮かべながら感謝の気持ちでいっぱいになりました。

昨年、会員さんには電話によるヒアリングを行っております。まだ途中ですがアンケートの結果では、今みちのく会に必要としていることは、情報が欲しいということとお茶会などによる情報交換の場ということが多かったです。



みちのく会会長 本間紀伊子

みちのく会があることで行政や民間からの情報やお便りが届いたり、みなさんからの声を受発信することもできます。

ビジネスとしてのサービス業でもないのでできる範囲での動きにはなりますが、場所とみちのく会の大きなネットワークは、会員の皆様がどうぞ有効に使っていきましょう。現在、自主的に動いている男の会などとてもおもしろそうです。

市民の方々もこれからもいろいろな形で一緒にいただけると大変嬉しいです。

お名前を書ききれず失礼ではありますが、これまで多くの団体、個人、法人、行政の皆さんに優しくしていただき今の私たちがいます。

そのおかげで私は今、厳しい社会の中で少しずつ頑張ることができています。

「楽しいことばかりじゃなくても、笑顔で乗り越えられますように・・・」

それが、自分にとってみなさんへの恩返しであると思っています。

5年経ってさらに歳を重ねた分、自分だからできる自分らしい生き方をしたいと思っています。事務所にほぼ不在の会長ではありますが、またみなさんと笑顔で会える時を楽しみにしています。これからもよろしくお願いいたします。

みちのく会函館支部長より"挨拶"

私鈴木明広は、みちのく会函館支部長を今期で退任することにいたしました。後任は現在未定ですが、函館の支援団体さんは、ひとまず休眠でもよいから、どなたかに代表を引き継いでもらい支部が存続することを望んでいます。後任に関しては決まり次第お知らせいたします。メールなどの情報が必要な方は、みちのく会札幌本部までお知らせください。

また、福島避難者ネットワーク一函館一(2012年設立)につきましては、2016年3月末をもって鈴木代表は退任し、女性2人の共同体制となります。

「6年目の3.11」が 地下歩行空間で開催されました



東日本大震災から丸5年が
経ちました。

札幌市の地下歩行空間で
は、3月10～11日の二日間、
北海道NPO被災者支援
ネット主催の「6年目の
3.11」が開催されました。

今回は、より市民と共に考
えるための場を目指してエ

ネルギー、障害、まちづくり、環境、音楽、食という多ジャン
ルからのアプローチがなされ、チカホを行き交う多く
の方々足が止め、今を伝える写真展や今が見えるパネル
展に見入ったり、シンポジウムやライブ&トークに聞き
入ったりしていました。ライフスタイルの様々な視点から
震災の現場や出来事を捉え、共に考え、興味関心を深め
ていこうとする挑戦だと感じられました。



オフグリッド発電の様子



今年度は会の運営状況に変
化があり交流会などの回数
は減ってしまいましたが、会
員の皆さまが繋がること
ができる場に留まらず、癒し
やリフレッシュになること、
北海道により慣れ親しむこと

などにも繋がる内容を目標
として開催してきました。皆
さまのリクエストに応えきれ
なかった部分もあるかと思
いますが、参加して下さ
った皆さま、応援団の皆
さま、講師などでご協力
くださった皆さま、ありが
うございました。



「男の会」のお誘い

今年度も、バーベキューや忘年会など、札幌市西区で治
療院を開業されている金子加津彦さんが中心となり男
の会を開催してくださいました。ANPAN☆NIGHTとは
また違った雰囲気飲み語り合える場で、男の会で繋
がった方々はその後も連絡を取り合っているとのこと。
今後もぜひもっと多くの方に参加いただいて、盛り上げ
てほしいとみちのく会としても願っています。参加
されている方に、男の会の感想をお聞きました。

■永畑征一さん(札幌市在住)

北海道に移住してガラッと生活が変わり、仕事以外の付
き合いもなく、会社でも何となく周りに合わせて窮屈な
思いをして…。そんな時に「避難家族のお父さん達で飲
みませんか?」とみちのく会からの誘い。おお!コレだ!
ベースが同じお父さん達だよ!とは思いつつも誰も知
り合いのいない、お父さんの会にドキドキながら参加しま

3/17(木)ANPAN★LUNCHを 開催しました

1年の締めくくりとして、また応援団の方々やお世話に
なった方にもお声掛けしてANPAN☆LUNCHを開催し
ました。好評だった前回同様にスタッフが腕を振るい、昨
年2月にみちのく会のお茶会で作った手作りお味噌を
使ったメニューをそろえました。

した。が、呑めばトモダチ!とでも楽しい時間を過ごさせて頂きました。そこで隣の席になった金子さんと「もっと気軽に集まれたらいいよね」「ローカル版お父さんの会はどうか?」「お互い西区だから西区限定で呑もうか!」と始まったのが「西区男の会」です。



お父さんの会から男の会になったのは、お父さんだけじゃなくてもイイよね!という理由だったような?本間さんと林崎さんにも参加頂き、琴似界隈で何回か西区男の会として集まっていますが「西区に限定する必要もないかもね?」と、西区を外し「男の会」として活動範囲をすすきのまで広げ、現在に至ります。

更に、昨年は活動時間を昼間に広げて、GWに家族参加の五天山BBQを開催しました。タラの芽の天麩羅(!)からスタートして、べの焼きそばまで、美味しく楽しい時間を過ごしました。悔やまれるのは車で集合したのでノンアルコール。「呑めないのが残念だね~」の流れから、今回はキャンプだ!と盛り上がりましたが、残念ながら企画倒れ…。今年は是非キャンプでお父さんぶりを発揮しようかと思っています。

皆さん、仕事も歳もバラバラ。でも意外な共通点が見つかったりして、毎回楽しく呑んでいます。堅苦しい事は何もありませんので、タイミングが合えば、ふら~っと、参加して下さい。お待ちしております。

最後になりましたが、男の会を纏めてくださっている金子さん、ありがとうございます。この場を借りて、感謝申し上げます。



2/18(木)北区出張交流会を開催しました

昨年度、悪天候で開催できなかった北区にて、出張交流会としてはちみつクリーム作り講座を開催しました。震災以降、むすびば・うけいれ隊で支援活動に携わってこられた尾形優子さんを講師にお招きして、ハチミツやハーブの持つ作用や効果、また生活の中で役立つ活用法などをお話していただきました。



参加者された会員さんの感想

●とても良い時間でした。自分の時間を久しぶりに過ごし、香りに癒され、色に癒され、心がほっこりしました。ハーブの勉強もできて、自分でハーブを育ててみたいなと思いました。自分オリジナルのスキンケアクリームが作れて、本当に幸せな気分です。



●手作りクリームの素晴らしさを知り、感動しました。先生のように、自分で育てたハーブを取り入れ、健康的な暮らしをしたいものです。ぜひ先生のハーブ園を見学して、ハーブの育て方などのお話を伺いたいです。

尾形優子さんは、JAMHA認定ハーバルセラピストとして活躍されており、薬剤に頼らない自然養蜂とハーブ栽培を手がけ、お店「ハチミツとハーブ La table verte」にて非加熱のハチミツとハーブの販売もされています。

■TEL&FAX: 0133-73-1338

■住所:石狩市花川北2条4丁目

■La table verteのブログ

ミツバチと花とハチミツと。

<http://honeyherb.exblog.jp/>

■Facebookページ

<https://www.facebook.com/LaTableVert/>

ラ・ ターブル ベール

La table verte

「ラ・ターブルベール」とは、フランス語で「みどり(しぜん)のテーブル」

テーブルにならべる「食」はわたしたちの健康に必要なものです

わたしたちが健康であることは、土、水、空気…

自然も健康であることが必要です

自然から必要なものだけを受け取る

自然に必要なものは還元していく

自然の恵みをいただくことは、ひとと自然が調和を保つこと

「ラ・ターブルベール」では、ハーブ栽培と養蜂

による生産から販売まで

わたしたちと自然の健康を目指したアイテムを提案いたします

(パンフレットより)

ヒアリングアンケートご協力 ありがとうございました

今年度実施したアンケート結果をもとにみちのく会月寒事務局の会員名簿を整理いたしました。ご協力ありがとうございました。会員数1050人(362世帯)(平成28年3月現在)

※ヒアリングアンケート実施時、連絡がつかない方もいらっしゃいます。心当たりの方は一度、事務局までお問い合わせください。

※今後も新たに引越などで登録情報に変更が生じた場合は、都度お知らせください。住所や連絡先など登録情報が古いままですと、今後みちのく会から直接会報などをお送りする際に届かなくなる可能性もあります。また、みちのく会を退会ご希望の方もその旨を事務局までお知らせください。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

メーリングリストにて 情報提供を行っています

みちのく会月寒事務局では、会員向けにメーリングリストにて北海道内のイベントや地域情報をご案内しています。メーリングリストへの登録をご希望の方は、みちのく会から招待メールをお送りしますので、月寒事務局までお名前とメールアドレスをお知らせください。

※携帯電話のメールアドレスで登録される場合は、迷惑メールの設定(ドメイン拒否など)によっては届かない場合があります。予め、freeml.comからのメールを受け取れるように設定しておく必要がありますのでご注意ください。

みちのく会月寒事務局の今後の予定

■春期中のみちのく会月寒事務局につきまして、昨年同様、スタッフ人員の都合で事務所を毎日開けることができなくなります。そのため、翌週の事務所の開いている日と時間帯を、メーリングリストにて毎週お知らせいたします。また会員の皆さまで、今後、積極的に会の運営に携わっていただきたい方がいらっしゃいましたら、ぜひお声掛けください。

※来訪、お電話いただく際もMLに記載される時間外には対応できませんので、ご了承ください。

※みちのく会にいただいたメールへの対応も、その時間帯でさせていただきます。

■来年度のお茶会・交流会・講座開催につきましては未定ですので、決まり次第、メーリングリスト・Facebook みんなのページ等でご案内いたします。

みちのく会の問い合わせ先はこちら

■みちのく会

札幌月寒(つきさむ)事務局

住所:〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条7丁目1-11

Tel・Fax: 011-826-4092

HP: <http://michinokukai.info/>

E-mail: office@michinokukai.info

この会報(みちのく会通信)発行は、タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム2015の助成により行っています。

タケダ・赤い羽根

広域避難者
支援プログラム